

既設コンクリート構造物の健全性診断としての非破壊・微破壊検査技術の高度化に関する研究

山本, 大介

<https://doi.org/10.15017/1932010>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（工学）, 論文博士
バージョン：
権利関係：

| | | | | |
|--------|--|--------------|-----|-------|
| 氏名 | やまもと だいすけ 山本 大介 | | | |
| 論文名 | 既設コンクリート構造物の健全性診断としての非破壊・微破壊検査技術の高度化に関する研究 | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 濱田 秀則 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 日野 伸一 |
| | 〃 | 九州大学 | 教授 | 園田 佳巨 |
| | 〃 | 九州大学人間環境学研究院 | 准教授 | 小山 智幸 |

論文審査の結果の要旨

本研究は、既存コンクリートの強度推定、硫酸劣化が生じているコンクリートの性能評価、アルカリシリカ反応（ASR）が生じているコンクリートの劣化評価において必要とされる非破壊・微破壊試験方法の高度化を進めることで、我が国の既存コンクリート構造物の安全確保と維持管理技術の向上について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

なお、本論文については試験を行った結果、満足な回答を得られたので、試験に合格したものと認める。さらには、博士（工学）の学位の授与に値するものと認める。